

平成31年2月12日

杉並区議会議長  
大熊 昌巳 様

災害対策特別委員会  
委員長 金子 けんたろう

### 災害対策特別委員会活動経過報告書

災害対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 平成30年11月17日

##### (1) 委員の派遣

平成30年度杉並区総合震災訓練を視察するため、以下の場所に委員を派遣した。  
桃井原っぱ公園（杉並区桃井3丁目8番1号）

#### 2 平成30年11月30日

##### (1) 報告聴取

##### ア 平成30年度杉並区総合震災訓練等の実施結果について

##### (ア) 杉並区総合震災訓練

平成30年11月17日（土）に桃井原っぱ公園で、総合震災訓練を実施し、一般参加者は1,036名であったとのこと。

訓練内容は、初期消火・倒壊家屋からの救出救助等の合同訓練や、ドローンによる情報収集などを行ったとのこと。

##### (イ) 震災救援所訓練

平成30年11月30日現在、65か所中51か所が終了しているとのこと。

##### イ 平成30年度水防活動状況について

平成30年4月1日から11月15日までの水防活動状況について、以下のとおりの実施状況となっているとのこと。

##### (ア) 配備態勢

配備回数 25回

(内訳)	情報連絡態勢	19回	警戒配備態勢	2回
	都市型災害対策緊急部隊	2回	水防出動配備態勢	2回

## ウ 地震被害シミュレーション結果の活用について（避難者予測・ライフライン被害編）

### （ア）周知の方法

- ・震災救援所運営連絡会や各種イベントで、概要版を配布し、シミュレーション結果を説明する。あわせて、すぎナビ、地震被害想定ARアプリの周知を図るとのこと。
- ・地震被害シミュレーションの冊子版を閲覧用として公表する。また、自助・共助の取組を支える公助及びライフライン事業者の取組などを記載した解説版を作成し、概要版及び冊子版に挟み込み活用するとのこと。
- ・広報すぎなみにコラム記事を4回に渡って掲載し、シミュレーション結果の理解を深めていただくとのこと。

### （イ）今後の防災・減災対策と発災に備えた対策の方向性について

- ・防災・減災対策として、感震ブレーカーの設置支援対象地域の拡大と簡易水道消火器具の計画的配付を行う。また、在宅避難に必要な物資をあつ旋品目に追加し、日常備蓄や在宅避難生活に関するセミナーを開催予定とのこと。
- ・発災に備えた対策では、避難者数に応じた備蓄品の数量の見直しと再配備、震災救援所での避難者受入体制の再確認及び運営マニュアルへの反映、帰宅困難者対応として一時滞在施設の拡充を図るとのこと。

## エ 道路等の除雪について

### （ア）目的

区が管理する道路等を対象に、積雪時における円滑な交通の確保、事故防止、区民生活の安全確保を目的とするとのこと。

### （イ）除雪作業の実施基準

原則、10センチ以上の積雪があった場合に実施する。なお、これに満たない場合も、気象状況等により必要があると判断する場合には実施するとのこと。

### （ウ）対象路線

通学路、急な坂道、急な曲がり角、駅周辺の区道等の135路線、272か所（一部重複）、総延長約43キロメートルを指定しているとのこと。